

## 汗をかくなのが好きだから

2020. 2月記

理想の森づくり目指すFG 活動中見える会員・参加者の

「互いの喜び」「何が好きでこの活動をしているか」に

目を心を寄せ 耳を傾ければ FGが描く理想の活動・姿がんでくる  
「ホメ・認めるほど 人は伸び FGも伸びる」を モットーにしている  
団体である では どんな時 どんな場で 認められ どんな喜び・良さが  
あり どの汗が好きなのだろうか つぶやきに聞き耳を立て あぶりだして  
みよう でも 時には 未だ ヒヤリハットも残っている  
それにはそれで 即座に手を打たねばならない 安全のために

※1月の今回は 高崎観音山 刈り払い作業を見学された方と つぶやき拾い係の筆者との対話の形で記載する

1/25日(土) 観音山染料植物園 駐車場から  
三つの場を設け FG21の活動を聴いていただき  
そして 『心のつぶやきも含めて』 聴かせていただいた

○この日 風なく やがて暖かな昼間となる

8時30分前 一人の女性が 入会の志を持ち もうすぐ3歳になる息子さんを連れて訪れた

FG21 1月のホームページ活動予定を見て 理事長に事前連絡をしているとのこと  
第1の場

集合し準備をする カシャ カシャ ブンブーン

「おはようございます 今日よろしく 今日Kさんが見学されます」と紹介の声

機材を積んだバンから 刈り払い機を降ろし 並べ 身支度を終えた者から  
機械に刃をつけ 燃料を入れ 可動確認の暖機運転をする

『あの様にセットするんだ 操作は慣れれば 私にもできそう 高齢の女性も使っているのか』

第2の場

現場の赴く 尾根部分から沢に向かって 降りながら切る・刈る

ポッ ポッ サクサク ブーン チーン バシッ

肩に機械を担ぎ 鋸とナタを腰につけ 長靴などをはき ドリンクを各自持って  
100メートルほど移動する 燃料缶も忘れずに

『肩 腕 足 身体が基本だ 足腰鍛えなくちゃ』

『ちょっと大変そう でもできそうだ』

第3の場

会の手の内を示し 夢を語る

ミシッ カツン ガツン そしてワクワク

この現場(山)を どのような木で囲むのか どんな形にしたいのか? 依頼主と話

し 皆で確認をしていく ここでは ツツジや桜の木を大事にしていこう

さて ここで檜の木 径10センチほどを切る

追い口を入れ しばらくすると ミシッと音が 離れたところでも聞こえたとのこと

枝払い 見本を見せた後 ナタを持ち 振り上げ 当てて 切り落としてもらおう

切り倒した檜を 木口切りにし お土産に持ち帰っていただく

同じ作業を横浜の小学生にしてもらったこと

子ども達は 自分で切り落とした木の匂いをかぎ 濡れた肌に 手を当てていたと話す

数人の子どもを班として担当し 山や木 生き物の話を聞かせたこと

過日は 最後の授乳 イノシシの母親のことを語ったこと

『木は 倒れる前に 音を出すんだ ツルが切れるんだ ナタや鋸は 回数をこなすと コツが分かりそうだ

小学生に気に入ってもらえる話・・・？ 私だったら何を話そうかな 竹林のことかな』

『質問していいですか あの方は 前はどんなお仕事をされていたんですか？ もう一つ 作業して 疲れないですか？ 痛くならないですか？』

・・・コウキに勤めていました 機械に詳しいですよ

疲れます でも気持ちがいいんです ナタや鋸を使い過ぎると夜寝ていて 痛くなります 布団の外に腕を出して 冷やします 笑い

『今日は これで帰ります ありがとうございます 来た道分かりそうです では また』